

事務事業評価シート

(H.30)No.	5050	(H.29)No.	5050
-----------	------	-----------	------

事務事業名	体育施設管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	市民スポーツ室	田中 弘二	

会計区分	事業コード	522001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	体育施設管理費	
項 保健体育費	(小事業名)	
目 体育施設費	体育施設管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進
	施策	2	生涯スポーツ
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
総合体育館等体育施設の円滑な運営と施設の安全管理を行うことにより、利用者への適切なサービス提供を行います。
事業内容
名張市体育施設指定管理料、美旗多目的広場等の管理業務委託料、体育施設の高額営繕費用、学校開放事業にかかる施設の修繕費用等。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	体育施設管理運営業務委託料 33,090千円 公共予約パソコンリース 49千円 工事請負等990千円 等	体育施設管理運営業務委託料 31,744千円 公共予約パソコンリース 49千円	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		38,679千円		34,621千円	33,190千円	31,793千円	33,190千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()		4,172		4,262	4,262	4,262
	一般財源	0	34,507	0	30,359	28,928	27,531
人工数	職員		0.55人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
	臨時職員等		0.30人				
②概算人件費	0千円	4,610千円	0千円	2,220千円	2,220千円	2,220千円	2,220千円
①+②総事業費	0千円	43,289千円	0千円	36,841千円	35,410千円	34,013千円	35,410千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
平成29年度実績は、利用件数は13,362件(前年度比6.3%減)と前年度より減少しましたが、利用者数197,772人(同9.1%増)となり、前年度より増加しています。施設の老朽化に伴う名張中央公園内の体育施設の改修を実施したほか、総合体育館の漏水対応などの突発的な修繕対応を実施しました。指定管理者制度による施設運営により、前年度を上回る施設利用がありました。また、老朽化が進む施設については、指定管理者と情報共有を行い、連携して現状把握・対策計画・施工実施を行える体制がとれました。体育施設の維持管理に関して、各競技団体の奉仕活動等で自ら使用する施設の維持保守にご協力いただいています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
利用者に安心・安全な施設環境を提供できるよう、指定管理者と連携を図り、引き続き、日常の維持管理に努めます。あわせて、施設の老朽化による補修等が必要となっていることから、計画的に修理修繕を実施していきます。体育施設の運営においては、指定管理制度を導入するなどにより、民間活力を活用した効果・効率的な運営ができています。	
	名張市スポーツ推進計画